

平成27年6月22日

桑折町議会
議長 半澤 高 様

総務文教厚生常任委員会
委員長 羽根田 八千代

委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査の報告を下記のとおり会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 調査事件

社会教育（体育を含む）施設整備について

2 調査目的

社会教育（体育を含む）分野における震災復興を図るため

3 調査の経過

□平成24年7月11日

中央公民館の現地確認を行った。また、生涯学習課長より町の考え方の説明を受け質疑を行った。

□平成24年7月26日

生涯学習課長の出席を求め、中央公民館の今後の対応方針について説明を受け質疑を行った。

□平成25年2月19日

教育長、学校教育課長、生涯学習課長の出席を求め、中央公民館の方向性について説明を受け質疑を行った。

□平成25年5月15日

教育長、生涯学習課長の出席を求め、中央公民館改修に関する方向性について説明を受け質疑を行った。

□平成25年9月2日

教育長、生涯学習課長、学校教育課長の出席を求め、旧伊達郡役所修復工事の進捗状況及び教育委委員会としての町民プール建設に関する検討結果の説明を受け質疑を行った。

□平成26年8月5日

生涯学習課長の出席を求め、屋内温水プール・多目的スタジオ等複合施設の整備にかかる事業費及び財源等について説明を受け質疑を行った。

□平成26年11月21日

これまでの調査経過について整理を行った。

□平成27年5月26日

生涯学習課長の出席を求め、屋内温水プール・多目的スタジオ等複合施設の運営方針等について説明を受け質疑を行った。

□平成27年6月16日

委員長より報告書案が提示され、その内容について検討した。

□平成27年6月18日

報告書の内容について検討した。

4 調査の結果

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、多くの施設が甚大な被害を受けた。その中でも中央公民館は、「アスベスト使用建築物である。」との問題も指摘され、改修か解体かについて多くの議論が交わされた。

同時期、原発事故の影響により、子育て世帯を中心とした自主避難が続いており、人口の流出による地域活力の低下が懸念されていた。また、子どもたちが十分に運動する機会が減少し、肥満傾向の拡大や体力の低下が見られるなど、地域において健全に子どもが育つ環境が損なわれている状況に対応すべく、子どもの運動機会の確保のための施設整備の早急な実施が求められた。

このような状況を踏まえ、本町は「子ども元気復活交付金」を活用し、屋

内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」を整備した。

これにより、子育て世帯が少しでも安心して定住できる環境が整えられ、更には、多くの町民が集うことで、本町の復興が加速し、目的が達成されるものと思う。

また、同施設は中央公民館の機能も含む「社会教育」の核となる施設である。今後は、健全運営に努め、多くの町民の方々に利活用いただけるよう努められたい。